

## < 国語 >

国語科の研究テーマは「個に応じた、基礎・基本の定着を図る指導の工夫」である。

### 1 授業について

#### (1) 目標の明確化

毎時間板書し、明確化を図ることはできたように思う。しかし、授業の最後で目標に対する評価が不十分である時も多かった。評価カードの活用や時間配分に留意し、まとめができるようにしたいと考え、改善を図った。

#### (2) 毎時間の小テスト実施

毎時間、授業開始時に10問の小テストを行っている。主に漢字や文法、ことわざや四字熟語などである。あらかじめ範囲を指定しており、その部分を漢字ノートや宅習で練習させている。間違っただ箇所についてはその日のうちに訂正をしたうえで提出させている。点数を小計していき、10回で100点満点となるように点数付けしている。取組状況は良く、毎回満点をめざして休み時間に教科書を開いて勉強している様子も見られる。

#### (3) 個別指導の充実

特に文法や表現技法など、理解の度合いに差があるものについては昼休みなどを利用して、できるだけ個別指導に応じている。1,2年次につまずくと全く分からなくなってしまうものもあり、履修済みのものについても、小テストなどを利用して、できるだけ復習するように努めている。

### 2 その他

#### (1) 家庭学習の充実

毎日の漢字100字は確実に提出させる。間違っただものについては、訂正したうえで昼休みまでに再提出させている。忘れた生徒についても昼休みに書いて提出をさせている。ワークについては主に週末の課題としている。確実に提出をするよう呼びかけているが、ワークに「書く」だけで「理解する」まで結びつかない生徒もいるように思われる。取組の意識付けが更に必要である。

#### (2) 作品コンクールへの取り組み

できるだけ多くのコンクールに積極的に応募している。本年度は、作文10、標語15、書道3、メッセージ2のコンクールに取り組んだ。作文以外は、全校生徒が応募している。数多くの作品が入賞を果たし、生徒の創作意欲も増しているように感じる。「何を、どんなふうにか書けばいいかわからない」という声が減り、書くコツがつかめてきたようだ。

### 3 次年度に向けて

基礎学力を定着させるために、学習習慣や学習の仕方を確実に身に付けさせたい。現在は、学習内容をただ「ノートに書けば終わり」という様子も見られる。提出するのが目的ではなく、分かる・できるようになるために書いているという意識を持たせたい。

また、テストでは「30字程度で答えなさい」などの問いには無答が多い。長く答える質問にも、質問の意図や本文の要旨をとらえて簡潔に表現できるよう指導したい。